

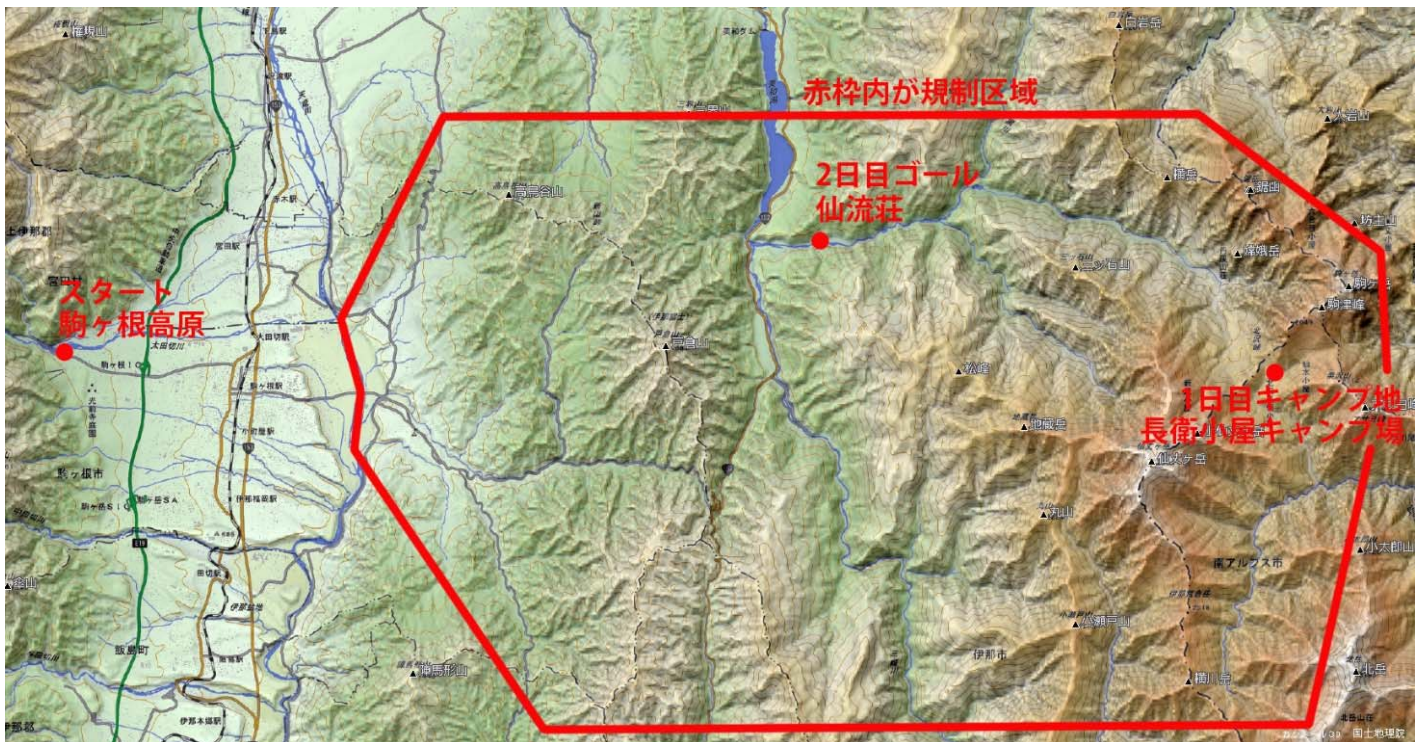
Trans Japan Alps Race 2022選考会要項

選考会は速い選手のみを選び出すのが目的でなく、危険で過酷なTJARを安全に運営していくための選考の場である。スピーディな行動は大事だが安全への意識、適切な判断ができるか、自分の力が正確に把握できているのか？書類だけでは推し量る事のできない、その人の総合的な力を見ることが目的である。

◇期日： 2022/6/25(土)～26(日)

◇場所： 南アルプス・北部(駒ヶ根市、伊那市、南アルプス市)

◇コース： 駒ヶ根高原～長衛小屋(キャンプ場泊)～仙流荘
*スタート地点、キャンプ地、ゴール地点のみ発表です。コースの詳細は当日発表します。
下記地図の赤枠内は調査、試走目的の立ち入りを控えて下さい。



◇タイムスケジュール

- 25日(土) 2:30～4:15 受付 駒ヶ根高原(駒ヶ根ファームス) 装備チェック、ブリーフィング
- 5:00 スタート
- 20:00 長衛小屋 に到着する事。この最終関門は変更の可能性あり(途中20分の停滞を伴う課題あり)
- 26日(日) 2:00 長衛小屋 スタート
- 10:30 仙流荘(ゴール) ゴールした人より順次筆記試験を行う。筆記試験終了後、解散。
- 12:00 WMAJ(ウィルダネス メディカル アソシエイツ ジャパン)による、TJARを想定した特別な野外における救急救命および疾病予防の講習を実施予定。希望者のみ。(この講習への参加・不参加が選考の結果に影響を及ぼす事はありませんが、可能な限り参加をお勧めします。)
- 16:00 講習終了・解散

◇選考内容

- 山岳フィールド/山での走力+下界/ロードにおける走力(参加条件に準ずる)
- ビバーク技術
- 生活技術
- 読図力
- 危険予測、回避力、対応能力
- その他

Trans Japan Alps Race 2022 に出場するためには、この選考会に参加し実行委員会の定める審査基準を満たし、かつ実行委員会の承認を得た者が参加できる。ただし合格者が定員をオーバーした場合抽選による選出となる。

◇人数： 60名以下

◇参加費： 12,000円 (ココヘリレンタルの場合は+1000円)

◇選考会ルール

- コース上の指定されたチェックポイント(以下CP)を、走り+歩きのみで忠実に繋ぐこと。
CPを通過しなかったり、動力や交通機関を利用してはならない。コース、CPは当日発表。
- スタート前に装備チェックを行う。事前に指定する必須装備全てを持たなければ出場できない。
コース状況の変化により必須装備を変更する場合があるが、その時は事前に連絡する。

必須装備リスト

- 取り消し線の入っている装備は選考会では必須装備とはしない。

標高3,000mの日本アルプスにおいてビバークに耐える装備・食料等を常に持ち歩くこと。

No.	品 目
1	ヘッドライト2個もしくはヘッドライト1個とハンドライト1個：各ライトの予備バッテリー含む*1
2	docomoの携帯電話もしくはスマートフォン：「Line+works」*2が使用できること。防水処理要、予備バッテリーも持つこと。*3
3	GPS+トラッキング端末：GPS端末、防水ケース、予備バッテリーは当日配布
4	地図/全区間：当日配布。ビニール袋等に入れて防水処理要。個人で用意した地図は使用不可。
5	コンパス (方位磁石)
6	筆記具
7	計画書：ビニール袋等に入れて防水処理要 TJAR 2022 選考会 登山計画書
8	山岳保険証：ビニール袋等に入れて防水処理要
9	保険証：ビニール袋等に入れて防水処理要：
10	運転免許証等：原則コピー不可、本人確認が可能なもの ビニール袋等に入れて防水処理要
11	ビブゼッケン&ザックゼッケン&露営具ゼッケン：受付時に配布
12	防寒具：ビニール袋等に入れて防水処理要
13	レインウエア(上下)：透湿防水性能がありシームシーリングしてあること(ウインドブレーカー、ポンチョはNG)
14	帽子&手袋：各1
15	露営具：テント、ツェルト、シェルター等どれか1つで良い
16	シュラフ、シュラフカバー、レスキューシート等：どれか1つで良い
17	熊鈴
18	水1ℓ以上：複数の容器に入れる事。
19	非常食：カロリーメイト、パワーバー等
20	服装：手首・足首までおおう事ができる服装が準備されていること。(防寒具や雨具での兼用はNG Tシャツ・短パンのみNG アームカバー・レグカバー可 ただし肌が露出しないこと)
21	クライミングヘルメット：EN12492もしくはUIAA106適合品に限る
22	赤色点滅灯：行動用ライトとの併用不可
23	ファーストエイド：大会中に起こりうるアクシデントを想定したもの、緊急時に対応できる物など
24	火器類一式：ガスバーナー、ガス缶、300cc以上のコップェル、ライター等*4
25	ストックキャップ：直径20mm以上、ストックを携帯する場合でありストック使用の有無は問わない。要脱落防止策。
26	ココヘリ (レンタル有) *5
27	マスク (素材は問わないが鼻、口を覆う形状であること)

*1 モバイルバッテリーでライト、スマートフォン両方の充電を担う事は可。

*2 docomo端末で無くともSIMフリー端末でdocomo回線が使えれば良い。

*3 ゴール時まで通話可能状態である事。(通話可能な電池残量があること)

*4 スタート時にガスが50g以上ある事。、無風、気温20度の時、300ccの水を3分以内に沸騰できる仕様である事。
固形燃料、アルコールストーブは不可

*5 レンタル一回1,000円 新規契約の場合は入会金無料特典あり (選考会出場決定者のみ)

- ・ 今回の行程は1泊であるが食料以外はTJAR（5日～8日）を想定した装備である事。（それ以上でもなくそれ以下でもなく本大会をイメージした装備）
 - ・ 選考会では、GPSトラッキングは行わない。
 - ・ 選考会で使う露營具（テント/ツェルト/シェルター）と本大会で使う露營具は原則同一であること。ただしより確かな物への変更は認める。
- 例）選考会：ツェルト→本戦：テント、選考会：ストックシェルター→本戦：テントは可

- ③ 自己の力が正確に把握できているか？コースの状況を的確に予測できるか？を見るために各CPへの予定到着時間を記入した行動予定表をスタート前に提出する事。（受付時に二枚配布）この予定に沿ってどれだけ忠実に行動できたかを見る。1枚は行動中に携帯し通過時間を記入。長衛小屋にて行動予定表を回収する。特別な気象条件、残雪の影響などは考慮する。コースの発表、地図・行動予定表配布は受付時。行動予定表提出は4：15まで。行動予定時間に余裕を取り、行動中に時間調整をすることは減点対象となる。
- ④ 読図力を見るためにラインオリエンテーリングを実施する。スタート前に渡される地図に指定コースが線状に記入してあるので選手は忠実にそのコースを辿ること。そのコース上にポストが設置してあるので、その位置を正確に地形図（1/25000地形図）に書き込むこと。地形図はスタート前に配布し、1日目終了時に回収する。禁止デバイス（スマートフォン、タブレット、携帯電話等）は受付後に封印するので、1日目終了時（長衛小屋でのビバークチェック終了時）までは緊急時（*）以外使用不可。時間確認、写真撮影、ザックからの取り出しも不可。その他GPS機能を有する機材の所持は不可。ザックに入れたままでのログ取得目的も不可とする。選考会中は受付から1日目終了時まで禁止機材は使用できないので、私用や仕事等での連絡も一切できなくなる。配布される地図「国土地理院1/25000地形図」には指定コース、枝道、コースタイム（登山道）、距離（ロード区間）、磁北線、記入済み。*緊急時とは自分自身、または選手、第三者が遭難、滑落、交通事故などによって生命の危険があると判断した場合。またはそういった事象に対して救助を求められた場合。

選考会1日目読図課題における使用可能品、禁止機材(行為)

可	不可
主催者から渡された地図	主催者から渡された地図以外の地図の使用
コンパス	事前に用意した調査資料（電子的なファイルデータ、紙資料）
高度計(腕時計内蔵型は可)	タブレット・スマートフォンの全ての機能（封印して携帯可）
腕時計	GPS機能を持つ全ての機器（スマートウォッチを含む）の所持
	携帯電話の使用
	選手、第三者との間での助言及び相談

- ⑤ 長衛小屋キャンプ場にて露營・生活技術のチェックとして、露營具の設営を評価する。露營技術において十分な強度を有するのかチェックするため、設営完了・シェルター内へ避難までタイムを計測。選手は外に出た状態で3kgの力を2方向に加える。
- ⑥ 倒壊、大きな変形あった場合は強度を持っていないと判断する。
力を掛けるポイントは張り綱をとる場所。ストックシェルター、ドーム型などは天頂部分となる。
設営時間(ツェルト:8分以内、シェルター(テント型):4分以内)ここでいうツェルトとは非自立型(ペグダウンしないと形を保てないタイプ)のシェルターを指す。シェルター(テント型)とは自立型(ペグダウンしなくとも形を保っているタイプ)ULドームシェルター、ライズ1などを指す。最近では技術の進歩・素材の進化によって従来のテント、ツェルトの言葉で切り分ける事が難しくなったため以下の区分けで評価する。これにあたらないシェルターの方は事前に問い合わせの事。

選考会における設営評価区分

4分

メーカー名	モデル名
モンベル	ULドームシェルター、ULモノフレームシェルター、マルチチューブシェルター
トレイルマウンテン	ストックシェルター、ストックシェルターPRO
ヘリテイジ	トレイルシェルター、エマージェンシーソロシェルター、エマージェンシードーム、クロスオーバードーム、クロスオーバードームF、
アライテント	ビビィシェルター、ライズ1・2
ZEROGRAM	ZERO1 Pathfinder Tent
Black Diamond	Distance Shelter

8分

メーカー名	モデル名
モンベル	ライトツェルト、ULツェルト、GORE-TEXライトツェルト、ULボックスツェルト
ファイントラック	ツェルト1、ツェルト2ロング
ヘリテイジ	エマージェンシーツェルト7d・15d
アライテント	ビバークツェルト1ロング、スーパーライトツェルト1・2、撥水ツェルト1・2

商品名に「ツェルト」「ツェルト」と明記されており1名が横になって全身をカバーできる大きさであるもの

- ⑥ 危険予測回避力及び対応力をチェックするために、山中にて実技テストと仙流荘ゴール後筆記試験を行う。
 実技テスト:TJARの最中に起こりうるトラブルに対して、現場での対応能力を見る。
 筆記試験:TJARの最中を想定した気象、装備、知識、対応方法などを問う。
- ⑦ 大幅なコースミス、行動不能になるなどの問題行動は失格とする。
- ⑧ ビバークができる装備(レスキューシート、ツェルト等)を常時携行すること。
- ⑨ 必要な装備類(行動用具、露営用具、炊事用具等)および食料は各自準備し、自ら背負い移動すること。ただし、商店や自動販売機での飲食物の購入は可とする。山小屋の食堂等での飲食、買い物は不可。
- ⑩ 家族や友人等からのサポート(以下の行為)は禁止とする。
- a.選手および選手の持ち物に触れること
 - b.選手との物品の受け渡し(装備、ゴミ、不用品、差し入れ等含む)
 - c.選手の荷物搬送
 - d.選手の行動にシンクロナイズした継続的な伴走およびそれに類する行為
- ⑪ ⑩の行為に掛からない範囲での応援、観戦については制限しない。
- ⑫ 宿泊は、露営(テント、ツェルト等)のみとする。露営は、緊急時のビバークを除き、自然公園法に則りキャンプ地に指定された場所で行なう。山小屋、避難小屋、旅館等での宿泊および仮眠は禁止する。ただし、雷や動物等により生命の危機が予測される場合は、一時避難としてそれらを利用してもよい。
- ⑬ 個人的なデポ、私設エイドは禁止する。(ただしスタート【駒ヶ根高原】～ゴール【仙流荘】間の荷物搬送は可)
- ⑭ 下界はもちろんであるが、山中においても常に登山マナーを遵守し、謙虚に行動すること。
 山小屋、お店等に迷惑をかけないこと(特に夜間の利用に注意) 山小屋利用時間(水の購入のみ)は5:00～18:00とする。時間外の利用はしてはいけない。
- ⑮ リタイアする場合は、速やかに本部へ連絡し、指示を仰ぐこと。その場合、車が乗り入れできる所まで下山したら、本部まで必ず連絡する事。
- ⑯ 主催者は選手の事故・傷病などに備えて傷害保険に加入する。補償範囲は以下の通り。この補償内容が不十分である場合、各自の判断で保険に加入すること。
- ・死亡、後遺障害:1,000万円
 - ・入院(日額) :5,000円
 - ・通院(日額) :3,000円
- ⑰ 選考会中は常にゼッケンが見える様に着用する事。(ザック用ゼッケン、露営用具用ゼッケン)
- ⑱ 健康保険証、山岳保険証、運転免許証など身分を証明できるものは、コピーではなく、原本を携行する事。ただし、健康保険証に関して家族と含めて1枚になっている場合などについてはコピーも可
- ⑲ 本ルールにおいて明示されていなくとも、ランナー、登山者としての行動、発言が著しく不適切な場合、または選考会の意義を理解していないと判断できる場合は実行委員の判断において中止、失格になる事がある。
- ⑳ 選考会終了後ただちに判定会議を行う。結果は6月30日 にHP及びFacebook、メールにて発表。定員を超えた場合は以下の日時に抽選を行う。
- 7月2日(土)11:00～
- ネットでライブ配信予定。
- ㉑ 自己責任の原則
- 選考会中に、怪我や事故および遭難等のアクシデントが発生しても「すべての責任は自らに帰する」ことを誓約できる方のみ、エントリーが可能。

◇新型コロナウイルス感染症対策

今回は感染症対策として以下を標準的な対策としてこの選考会参加者及び関係者全てに求める。詳細は今後の動向によって変更する可能性がある。

選考会前の注意事項

- 選手とその家族は、日常的に感染対策に気をつかう事。
- 選手は選考会開催の2週間前（2022年6月11日）から検温を実施し、記録したものを実行委員会へ提出。
- 選手及び全てのスタッフは事前にPCR検査を受け、その結果を実行委員会に提示すること。（2022年6月19日以降に検査を受けること。）
- 選考会開催日までの2週間以内（2022年6月11日以降）に以下の事項にあてはまる場合は出走を禁止する。
 - ◇発熱（37.5℃以上）
 - ◇体調不良（例：咳、咽頭痛、悪寒、だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、嗅覚や味覚の異常、頭痛、筋肉や体の痛み、鼻詰まりや鼻水、吐き気または嘔吐といった風邪に似た症状）
 - ◇新型コロナウイルス感染症陽性とされた方と濃厚接触がある場合
 - ◇同居家族や職場同僚など身近な知人に、感染が疑われる・上記症状がある場合
 - ◇選考会開催日までの2週間以内（2022年6月11日以降）に日本政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

選考会中の注意事項

- スタートまでマスク着用の事。
- 選考会中は可能な限り周囲の人と距離を空ける事。
- マスクの落下、紛失はその後処理に注意が必要なため、その管理には十分配慮の事。
- スタッフはマスク着用。
- 地域の方々へ不安を与えぬようレース前後も含めコンビニ、飲食店、温泉施設等へ入店の際は必ずマスクの着用の事。

選考会後の注意事項

- 参加者は、選考会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、実行委員会に対して速やかにその事実を報告するとともに、選考会における濃厚接触者の有無等についても併せて報告すること。

対象者：選手、実行委員、スタッフ、選手、協賛関係者、選手関係者

	A：選考会		
	A-1 スタート前	A-2 長衛小屋	A-3 仙流荘
事前対策	全ての選手、実行委員、スタッフは事前のPCR検査を実施。陽性的場合参加できない 選手は2週間前からの検温・体調チェック。選考会当日提出。		
実行委員 スタッフ	事前のPCR検査確認		
	集合時に検温と体調のチェック。発熱（37.5℃を目安とする）があった場合参加できない。 常時マスク着用（スイーパー時を除く）	小屋のプロトコルに従うこと	宿のプロトコルに従うこと
選手	事前のPCR検査確認		
	受付時に検温と体調のチェック	発熱（37.5℃を目安とする）があった場合参加できない。	
	スタートまではマスク着用	滞在時はマスク着用	ゴール後はマスク着用
		行動中はマスクを着用しなくてよい。	
		小屋のプロトコルに従うこと	宿のプロトコルに従うこと
協賛関係者	集合時に検温と体調のチェック、常時マスク着用		
		常時マスク着用	
選手関係者	受付およびブリーフィングエリアには立ち入り禁止		
		常時マスク着用	
飲食の提供	実行委員会としては行わない		
ゴミ対策	各自持ち帰ること		

◎事前PCRは実行委員会の指示に従う事

◇選手の責任

- この選考会は、参加者自らが自立した登山者として起こり得る全ての悪条件を理解し、選考会中に怪我や事故および遭難等のアクシデントが発生しても自らで対処すること。
- 一親等の成人親族の参加承諾書を提出すること。（一親等の成人親族がない場合は、要相談）
- 「すべての責任は、自らに帰する」ことを誓約できる方のみ、エントリーが可能。（誓約書提出のこと）
- 山岳保険（遭難捜索費用保障を含む）には、必ず加入していること。（救済者費用保障は不可）
- 常に必須装備を携行する事。
- 選考会中は常にゼッケンが見える様にする事。（ザック用ゼッケン、キャンプ中は露営用具用ゼッケン）
- ルールを厳格に順守して選考会に参加すること。ルールに反した行為をおこなった場合は失格とする。速やかに大会本部に報告して指示を仰ぐこと。
- 第三者から大会本部に、ルールに違反した選手がいる旨の通報があった場合、大会本部は該当選手に対してメール等により事実有無の確認を行う。違反行為を行った事実が確定した時点で、その選手は失格となる。以降選考会を続ける事はできない。
- 選考会中に遭難、負傷事故に遭遇した場合は、選考会を中断して救助を優先すること。*その後の評価については考慮する。
- 道路、登山道などに於いて事故、怪我が発生した際にその管理者に対してその責を問わない事。

◇中止基準

下記の事由により選考会の開催、継続が困難であると判断した場合は、主催者は選考会の中止または中断、コースの変更をする。開催日の延期はしない。選考会が中止となった場合は本大会も中止となる。

- 非常事態宣言及び緊急事態宣言等の大規模な規制があった場合
- コース上の地方自治体からの中止要請があった場合。
- 選考会実施中に選手、スタッフ、関係者の新型コロナウイルスの感染が確認された時。
- コース上に関わる特別警報が発表された時
- コース途中における崖崩れ、落石など選手の安全を確保できないと判断される場合
- ヤマテンの「大荒れ情報」発令時
- ヤマテン予報1日4回（6時間間隔）発表のうち、平均風速25m/s以上が2回以上（12時間継続）で想定される場合
※選考会中止の判断は大会前日20時までに大会公式サイト（HP, Facebook）で発表。

◇申し込みのキャンセル・変更について

申し込みのキャンセルはできるが、入金後はいかなる理由であっても参加費の返金を行わない。
参加の権利を第三者に譲渡することはできない。

◇その他

スタート～ゴール間のデポ（一時預かり）品を主催者で預かる事は可能。おおむね2Kg以内で一梱包とする。
怪我・事故・遭難等が発生した場合、応急処置は行うが、それ以降の対応は一切行わない。
残雪がある時期のため軽アイゼン、ピッケル等の滑落防止の備えが必要なケースが考えられる。6月20日までに最新の情報を知らせるので各自で判断の事。
選手選考会は、日程・コース・内容等について、余儀無く変更する場合がある。
前回の選考会 スタート前集合写真（2021年6月26～27日）

